

中学校 全学年

【戦争と平和 1】

☆こんな本を希望

沖縄・沖縄戦に関する本





☆図書館で準備できる本(全26冊)

	書名・著者・出版社	内容
1	忘れな石 沖縄・戦争マリア碑 宮良作/文:宮良瑛子/絵 (子ども平和図書館 6) 日本図書センター 2001.2	ある日ひとりの青年が、西表島の海岸で平べったい石を見つけた。彫られていたのは「わすれないし」という言葉だった…。戦時中に波照間島から疎開した人々を襲ったマリアの恐怖を通して、平和とは何かを考える。再刊。
2	野坂昭如戦争童話集 戦争童話集沖縄篇 2 石のラジオ 野坂昭如/作:黒田征太郎/絵 講談社 2010.5	昭和 20 年 8 月 15 日の正午過ぎ、大日本帝国南のはずれの島の、太平洋に面した洞穴の中で少年が死んだ。死ぬ間際に聞いた玉音放送の意味もわからないまま…。沖縄戦の悲劇を今に伝える、渾身の戦争童話。
3	子どもも兵士になった 沖縄・三中学徒隊の戦世 真鍋和子/著 童心社 2025.4	1944 年 10 月。アメリカ軍の大規模な攻撃が行われ、沖縄県民の誰もが戦争に巻き込まれたのだと実感する。兵力を増強するため、沖縄・三中の三年生全員が呼び出され…。沖縄県北部の山岳での学徒兵たちの戦世の日々を描く。
4	ひめゆりの沖縄戦 一少女は嵐のなかを生きた 伊波園子/著 (岩波ジュニア新書 207) 岩波書店 1992.6	半世紀前、一〇代の少女たちが戦争の中を生きた。「飯上げ」、壕掘り、傷病兵の看護、危険な激務は彼女たちを、死の危険にさらした。壕での生活にはじまり、南部への逃避行を経て、ついに最南端まで追いつめられていく。ひめゆり学徒隊の一少女の目を通して、沖縄戦の実相が浮き上がる。
5	わたしたちの戦争体験 6 沖縄 田代脩/監修:日本児童文芸家協会/著 学研教育出版 2010.2	戦争体験を伝え、戦争について考えるきっかけとなる本。 6は、「対馬丸の沈没」の戦争体験 「お父さんに会いたい」の戦争体験 「馬と逃げた日々」の戦争体験 「島守の塔」の戦争体験
6	平和を考える戦争遺物 4 沖縄戦と米軍占領 汐文社 2014.3	地域の博物館などに残されている戦争に関する実物の資料をビジュアルで紹介。4 は、沖縄戦の様相を遺された物を通して見るとともに、米軍占領下の戦後といまの沖縄についても考える。
7	シリーズ戦争孤児 3 沖縄の戦場孤児 鉄の雨を生きぬいて 汐文社 2015.1	3 は、戦中、戦後の沖縄の戦場孤児たちの様子を多数の写真とともに伝えます。



沖縄

<p>8</p>	<p>デイゴの花 語りつぐ戦争 平和について考える 桜井信夫/文:鈴木義治/絵 国土社 2012.2</p>	<p>戦争の悲惨な現実を語りつぎ、平和について考えるためのお話集。あのとき、わたしはわたしの赤んぼうを、わたしの手で殺したんです…。敵軍上陸の戦場となった沖縄戦のつらい出来事の数々。</p> 
<p>9</p>	<p>沖縄地上戦 (母と子でみる 54)(20世紀の戦争) 共同通信社/写真 草の根出版会 2001.6</p>	<p>多数の県民を巻き込んで戦われた凄惨な戦闘であった沖縄の地上戦。共同通信社が入手したデーリーニューズ社(アメリカ)の歴史的な戦争写真コレクション 2万5千点の中から、沖縄における米軍の写真を中心に編集。</p>
<p>10</p>	<p>ガマに刻まれた沖縄戦 (母と子でみる 44) 上羽修/写真と文 草の根出版会 1999.2</p>	<p>1美ら海、美ら島で 2米軍上陸と住民の集団自決 3学徒看護隊と自決を強いられた傷病兵 4いろいろな兵士 5戦場になった村、逃げ惑う住民 6八重山列島の戦争マラリア</p>
<p>11</p>	<p>ウミガメと少年 野坂昭如戦争童話集沖縄篇 (野坂昭如戦争童話集 沖縄篇) 野坂昭如/作:男鹿和雄/絵 スタジオジブリ 2008.4</p>	<p>昭和20年4月、沖縄本島にアメリカ軍が上陸。照明弾、機関銃、迫撃砲弾…。アメリカ軍からの激しい爆撃の中、卵を産むアオウミガメと、ひとりぼっちになった少年・哲夫の物語。</p>
<p>12</p>	<p>戦争童話集 (完全版) (中公文庫) 野坂昭如/著 中央公論新社 2025.4</p>	<p>昭和20年、8月15日-すべて同じ書き出しで始まる、忘れてはならない物語。空襲下の母子を描く「凧になったお母さん」など鎮魂の祈りをこめて綴られた「戦争童話集」12篇に、沖縄戦の悲劇を伝える2篇を増補した完全版。「ウミガメと少年」と同じような物語。</p>
<p>13</p>	<p>海に沈んだ対馬丸 子どもたちの沖縄戦 (岩波ジュニア新書 599) 早乙女愛/著 岩波書店 2008.6</p>	<p>アメリカの潜水艦に撃沈され、多数の犠牲者を出した学童疎開船・対馬丸。乗っていた子どもたちはいかに生き、死んでいったのか。生存者の証言や残された記録をたどり、子どもたちが対峙した戦争とは何だったのかを問う。語りかけるように叙述する。</p>
<p>14</p>	<p>琉球・沖縄史 ジュニア版 沖縄をよく知るための歴史教科書 新城俊昭/著 編集工房東洋企画 2018.4</p>	<p>おもに中学生以上の若い世代に読んでもらうためにまとめた歴史教科書。先史時代から古琉球の時代、近世琉球の時代、近代、戦後まで、琉球・沖縄の歴史を豊富な図版を交えて解説します。学習の成果を試せるクイズ付き。</p>
<p>15</p>	<p>沖縄戦とアイヌ兵士 (母と子でみる 19) 橋本進/編 草の根出版会 1994.4</p>	<p>沖縄戦戦没アイヌ兵士には不明者が多く、それほど沖縄戦は苛烈、混乱をきわめたといえる。沖縄戦戦没兵士数が多いアイヌの、戦争とその後をみる。</p>
<p>16</p>	<p>シリーズ戦争 語りつごう沖縄 1 沖縄県の自然と文化 2018.12 2 琉球王国から沖縄県へ 2019.1 3 悲劇の沖縄戦 2019.1 4 基地問題にゆれる島 2019.4 5 沖縄戦を忘れない 2019.4 安齋育郎/文・監修 新日本出版社</p> 	<p>日本の一番南にある沖縄県。ほかの県とはちがう波乱に満ちた歴史がある沖縄の「むかし」「いま」「これから」について考える。 1 は、美しい海や自然とともに、戦争の記憶や、基地の島としての面も紹介する。 2 は、琉球王国が沖縄県になるまでの歴史や、沖縄戦の舞台になった理由に迫る。 3 は、日本で唯一の大規模な地上戦と言われる沖縄戦の実相を、豊富な写真とともに紹介する。 4 は、米軍関係の事故や事件など基地問題にゆれる沖縄の現実を、豊富な写真とともに紹介する。 5 は、戦争の傷跡を伝える戦跡や慰霊碑、資料館や博物館を、豊富な写真とともに紹介する。</p>

<p>17</p>	<p>ひめゆりの少女 十六歳の戦場 (新版) 宮城喜久子/著 高文研 2025.6</p>	<p>沖縄戦開戦の日の夜、陸軍野戦病院へと出発したひめゆり学徒隊。16歳の少女は、そこで何を見、何を体験したか。砲弾の下の3カ月、生と死の境界線上で書き続けた「日記」をもとに、ひめゆり学徒隊の真実を伝える。</p> 
<p>18</p>	<p>ガマ 遺品たちが語る沖縄戦 豊田正義/著 講談社 2014.6 ①哲也の硯 ②新太の目覚まし時計 ③夏子のアルバム</p>	<p>硯、目覚まし時計、アルバム…。ガマから掘り出された遺品たちとその持ち主、家族にまつわる人生の物語。沖縄で、少年少女までも戦闘に参加させられた最悪の地上戦があったことを、物語のかたちでわかりやすく伝える。</p>
<p>19</p>	<p>石になった少女 沖縄・戦場の子どもたちの物語 大城将保/作:磯崎主佳/画 高文研 2015.6</p>	<p>沖縄戦で戦争孤児になった少女。村はずれの人待ち峠で家族との再会を待ち続けているうちに、とうとう石に化身してしまい…。沖縄戦研究者が友人たちの体験談をもとに描く、沖縄戦の実相を伝える物語。このような物語を読むことによって、沖縄戦の悲劇が実感を伴って迫ってくる。</p>
<p>20</p>	<p>13歳の少女が見た沖縄戦 学徒出陣、生き残りの私が語る真実 安田未知子/著 WAVE 出版 2015.6</p>	<p>私は、人間を狂気にする、戦争を憎みます。県民の4人に1人が死んだ沖縄の地上戦。「伝令」を命じられ、無数の死の現場を見た著者が、70年たった今語る、平和のための戦争の記憶。</p>
<p>21</p>	<p>戦場の「ベビー!」 タッチちゃんとオカアの沖縄戦 三木健/著 ニライ社 2005.6</p>	<p>今から60年前、日本とアメリカの戦争に巻き込まれた4歳のタッチちゃんとオカアの物語。戦場を逃げ惑う住民、ひたすらに国を信じた学徒兵たち。日本国内で唯一住民を巻き込んだ地上戦、沖縄戦の悲しさを描く。</p>
<p>22</p>	<p>ケンの戦場日記 ぼくの沖縄戦 久手堅憲俊/作:上西康介/絵 偕成社 1985.5</p>	<p>太平洋戦争末期、国内で唯一の地上戦が展開され、20万人以上の死者をだした沖縄戦。その悲劇を少年ケンの目を通して描く。戦争の最大の被害者であった子どもたちの目で沖縄戦をとらえたらどんな光景が現れるか。</p> 

沖縄

<p>23</p>	<p>ヨシちゃんの沖縄戦 13歳少女の体験より 中地フキコ/文と絵 かもがわ出版 2023.8</p>	<p>沖縄の沢岬村で暮らしていた13歳のヨシ子。ある日、アメリカ軍からの激しい攻撃を受け、父を亡くした。日本軍が助けてくれると信じて、島の南へと避難を始めるが…。松村ヨシ子さんが沖縄で体験したことをもとにした物語。</p> 
<p>24</p>	<p>いまこそ知りたい!沖縄が歩んだ道 1 琉球・沖縄の歴史 2022.2 2 沖縄に残る戦争遺跡と米軍基地 2022.3 新城俊昭/監修 汐文社</p>	<p>1 は、沖縄人のルーツから琉球王国の誕生、アジア太平洋戦争と沖縄、アメリカ統治時代、沖縄返還、日本復帰後の沖縄までを解説。 2 は、戦争中の陣地や司令部、防空壕の跡、被害を受けた公共施設、慰霊碑、祈念碑といった沖縄の戦争遺跡と米軍基地について解説する。ルビ多い。社会科的な本。沖縄について詳しく解説する。</p>
<p>25</p>	<p>シリーズ戦争 語りつごう沖縄 1 沖縄県の自然と文化 2018.12 2 琉球王国から沖縄県へ 2019.1 3 悲劇の沖縄戦 2019.1 4 基地問題にゆれる島 2019.4 5 沖縄戦を忘れない 2019.4 安斎育郎/文・監修 新日本出版社</p>	<p>1 は、美しい海や自然とともに、戦争の記憶や、基地の島としての面も紹介する。 2 は、琉球王国が沖縄県になるまでの歴史や、沖縄戦の舞台になった理由に迫る。 3 は、日本で唯一の大規模な地上戦と言われる沖縄戦の実相を、豊富な写真とともに紹介する。 4 は、米軍関係の事故や事件など基地問題にゆれる沖縄の現実を、豊富な写真とともに紹介する。 5 は、戦争の傷跡を伝える戦跡や慰霊碑、資料館や博物館を、豊富な写真とともに紹介する。日本の一番南にある沖縄県。ほかの県とはちがう波乱に満ちた歴史がある沖縄の「むかし」「いま」「これから」について考える。</p>
<p>26</p>	<p>沖縄戦とアイヌ兵士（母と子でみる 19） 橋本進/編 草の根出版会 1994.4</p>	<p>沖縄戦戦没アイヌ兵士には不明者が多く、それほど沖縄戦は苛烈、混乱をきわめたといえる。沖縄戦戦没兵士数が多いアイヌの、戦争とその後をみる。</p>

